

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2019-11333 (P2019-11333A)

【公開日】平成 31 年 1 月 24 日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-003

【出願番号】特願 2018-160285 (P2018-160285)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 2 3 L	33/135	(2016.01)
C 1 2 N	1/20	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/74	Z N A A
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 K	39/02	
A 2 3 L	33/135	
C 1 2 N	1/20	A
C 1 2 N	1/20	E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炎症性疾患若しくは自己免疫疾患又はがんを治療若しくは予防する方法に使用するための、ユーバクテリウム・コントロールタム種の細菌株を含む組成物。

【請求項 2】

ブドウ膜炎；乳がん、肺がん、肝臓がん、結腸がん、又は卵巣がんなどのがん；多発性硬化症；関節リウマチ、変形性関節症、乾癬性関節炎、又は若年性特発性関節炎などの関節炎；視神経脊髄炎（デビック病）；強直性脊椎炎；脊椎関節炎；乾癬；全身性紅斑性狼瘡；クローン病又は潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患；セリアック病；アレルギー性喘息又は好中球性喘息などの喘息；慢性閉塞性肺疾患（COPD）；強膜炎；血管炎；ベーチェット病；アテローム性動脈硬化症；アトピー性皮膚炎；肺気腫；歯周炎；アレルギー性鼻炎；及び同種異系移植片拒絶からなる群から選択される疾患又は状態を治療又は予防する方法に使用するための、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ブドウ膜炎を治療又は予防する方法に使用するための；かつ、ブドウ膜炎における網膜損傷を予防又は低減する方法に使用するための；請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

肺がん、乳がん、又は肝臓がんなどのがんを治療又は予防する方法に使用するための；かつ、腫瘍のサイズを低減させる、腫瘍の増殖を低減させる、転移を予防する、又は血管新生を予防する方法に使用するための；請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

好中球性喘息又はアレルギー性喘息などの喘息を治療又は予防する方法に使用するための；かつ、喘息の治療において好中球増加又は好酸球増加を低減させる方法に使用するための；請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

関節リウマチを治療又は予防する方法に使用するための；かつ、関節リウマチにおける関節の腫脹を低減させる方法に使用するための；請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 7】

多発性硬化症を治療又は予防する方法に使用するための；かつ、疾患の発生率又は疾患の重症度を低減させる方法に使用するための；請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 8】

炎症性疾患若しくは自己免疫疾患、又はがんの治療又は予防において、IL-17 産生を低減させる、又は Th 17 細胞の分化の低減をさせる方法に使用するための、請求項 1～7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

IL-17 レベル又は Th 17 細胞が上昇している患者に使用するための、請求項 1～8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

細菌株が、ユーバクテリウム・コントロールタムの細菌株の 16S rRNA 配列又は配列番号 1、2、3 若しくは 4 と少なくとも 95%、96%、97%、98%、99%、99.5% 又は 99.9% 同一である 16S rRNA 配列を有する、請求項 1～9 のいずれかに記載の使用のための、請求項 1～9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

経口投与用であり、1 又は 2 以上の薬学的に許容される賦形剤又は担体を含み、及び／又は細菌株が凍結乾燥されている、請求項 1～10 のいずれかに記載の使用のための、請

請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 2】

細菌株が、生存しており、かつ、腸管に部分的又は全体的に定着することができる、請求項 1 ～ 1 1 のいずれかに記載の使用のための、請求項 1 ～ 1 1 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 3】

ユーバクテリウム・コントロールタム種の単一株を含む、請求項 1 ～ 1 2 のいずれかに記載の使用のための、請求項 1 ～ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 4】

微生物コンソーシアの一部としてユーバクテリウム・コントロールタム細菌株を含む、請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載の使用のための、請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 ～ 1 4 のいずれかに記載の使用のための、請求項 1 ～ 1 4 のいずれかに記載の組成物を含む、食品又はワクチン。

【請求項 1 6】

N C I M B 4 2 6 8 9 として寄託されたユーバクテリウム・コントロールタム M R X 0 5 0 株の細胞又は生物学的に純粋な培養物であって、任意で治療において使用され、さらに任意で、前記細胞が請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の方法に使用するための細胞である、前記細胞又は生物学的に純粋な培養物。

【請求項 1 7】

任意で薬学的に許容される担体又は賦形剤を含む、請求項 1 6 に記載の細胞を含む組成物。

【請求項 1 8】

治療に使用するための、ユーバクテリウム・コントロールタム種の 1 又は 2 以上の細菌株を含む、組成物。